

令和 7 年 4 月のクマによる人身事故について

北信地域振興局林務課

1 人身事故の経過等

(1)飯山市

①発生日時 令和 7 年 4 月 9 日（水）16 時頃

②発生場所 飯山市常盤（小沼）

③被害状況 （報道による情報）

被害者	年令	性別	被害の発生状況
A さん	65	男性	自宅物置で作業中、背後からクマに襲われる
B さん	66	女性	自宅 1F の玄関土間でクマに襲われる
C さん	96	男性	自宅 2F の居間でクマに襲われる

④初動対応

- ・ 事故発生後、侵入通報のあった空き家を、警察署、実施隊※、市、県で翌朝まで警戒。(4/9)
- ・ 翌朝 6 時過ぎからベアドッグを投入し、クマ血痕等の痕跡を辿る屋外捜索を実施。(4/10)

※…「鳥獣被害対策実施隊」は鳥獣被害防止特措法に基づき設置、被害防止計画に基づく捕獲等の実践活動を担う。
隊員の報酬や公務災害補償措置を市町村条例で定め、隊員は市町村長が任命または指名する。

(2)木島平村

①発生日時 令和 7 年 4 月 16 日（水）6 時 40 分頃

②発生場所 下高井郡木島平村大字穂高（中村）

③被害状況 （報道による情報）

被害者	年令	性別	被害の発生状況
D さん	90	女性	自宅敷地内で農作業中、背後からクマに襲われる

④初動対応

- ・ 同日午前中、事故現場近隣の茂みで目撃通報、警察、実施隊※で追い出しを実施。(4/16)
- ・ 日中、潜伏の可能性がある藪等をサーマルドローンで調査を実施。(4/16～)



2 事故発生地域の取組 (短期取組)

方向性 事故発生市村と連携し、事故発生地域の直近の安全・安心確保の取組を展開

(1) 広域連携クマ対策チーム(市町村・専門家・局)による緊急対応・点検

市 町 村	実施日	実 施 内 容
飯山市 常盤 (小沼)	4/9	●人身事故発生に伴う緊急対応（飯山市、飯山警察署との連携）
	4/10	●クマ対策員がベアドッグでクマの痕跡を追跡（4/10）
	4/11～	●クマ対策員がサーマルドローンで近隣の藪を探索（～4/24）
	4/14～	⑨ <u>センサーカメラで 24 時間観測（～4/24、7 台稼働）</u>
	4/15～	●市実施隊による長峰丘陵ぎわのパトロール（～4/20、銃携行）
	5/5	●特定個体の捕獲対応（朝 8 時、千曲川河川敷で 1 頭を銃器捕獲）
	5/12～ 6/4	⑨ <u>加害個体の DNA（血痕抽出）と捕獲個体の DNA 照合</u> ●専門家による <u>今回の出沒案件の評価検証</u>
木島平村 穂高 (中村)	4/16	●人身事故発生に伴う緊急対応（木島平村、飯山警察署との連携）
	4/16～	●クマ対策員がサーマルドローンで近隣の藪を探索（～4/28）
	〃	⑨ <u>センサーカメラで 24 時間観測（～4/28、3 台稼働）</u>
	〃	●村実施隊による村内のパトロール（～4/18）
	4/22	●特定個体の捕獲対応（早朝 4 時、内山地区の捕獲檻で 1 頭捕獲）

(2) 有線等の広報媒体による地域住民等への注意喚起

- ・CATV、防災無線、公式 LINE 等を活用し、**素早く こまめに 繰り返し、住民へ注意喚起**

(3) 振興局公式 SNS 等による地域住民等への情報提供

- ・局が有する SNS ツールを活用し、**注意喚起に合わせ地域特有の情報を地域へ広報**

ツール	実施日	実 施 内 容
長野県プレス	4/10	出沒注意報発出のお知らせ（R7.4.10～6.30）
局 X・ブログ	4/14	遠隔操作センサーカメラによる観測開始のお知らせ
〃	4/24	大型看板等でクマとの遭遇防止対策の啓発活動をスタート
林務課 HP	4/24	北信のクマ注意情報のホームページを開設 https://www.pref.nagano.lg.jp/hokuchi/hokuchi-rimmu/documents/kumachuui.html

(4) 地域関係者に対する注意喚起

- ・文書により、JA 組合員等の農業者に向けた、農作業時における注意喚起
4/10、16 北信農農センター → JA ながのみゆき、JA 中野市、JA ながの志賀高原、6 市町村

(5) 地域振興局内 各課所連携による危機管理対応

- ・被害市村の対策会議へ地域振興局から鳥獣担当職員及びリエゾンを派遣、アドバイスを実施

(6) ⑨クマ対策緊急連絡会議の設置（4/25 開催、6 市町村鳥獣対策担当者、森林組合担当者）

- ・ゴールデンウィークなど当面の緊急時の対応策、連携事項等の確認・調整
- ・グループ LINE（6 市町村、2 組合、林務課）の運用開始（出沒情報の都度共有）

(7) 飯山市で捕獲された個体について

①経過

通報 令和7年5月5日（祝）5:40 （クマ対策員がドローン調査中に個体を発見）

捕獲 // 7:55

②通報・捕獲場所

飯山市、千曲川河川敷（中州）



③捕獲個体情報

性別	年齢	体重	身体特徴
オス	7歳	115kg	胸部に線状の新しい傷痕を複数本確認（最長 15cm）

④年齢査定

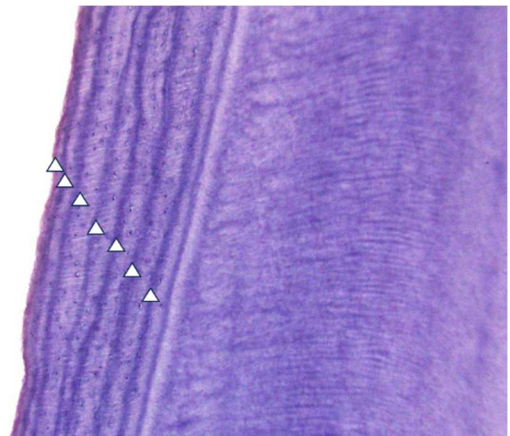
捕獲個体から採取した小臼歯を対象に、根元に形成される年輪をカウント。

⑤DNA鑑定・照合

民家のガラスを割って侵入した際、負傷したクマが現場に残した血痕から DNA を抽出。

環境保全研究所を通じ、筑波大学菅平実験所で捕獲個体の DNA 鑑定と照合を実施。

4月9日の加害個体と5月5日の千曲川中洲の捕獲個体のクマは別個体と結論。



事故当日 侵入通報のあった空き家



逃走過程で残されたクマの血痕

ツキノワグマ DNA 鑑定結果（資料抜粋）

事故現場のササ付着血痕、壁付着血痕由来の DNA からは同じ遺伝子型（対立遺伝子 80 と 92 のヘテロ接合型）が検出された。

表示していないが、ササおよび壁の血痕サンプルは計 4 サンプル供試し、16 遺伝子座それぞれで同じ遺伝子型を得たため、これらは同一個体であるといえる。

一方、MSUT-2 でみると 5 月 5 日・千曲川河川敷捕獲個体の遺伝子型は対立遺伝子 84 のホモ接合型であり、ササ、壁付着血痕の遺伝子型と一致しなかった。供試した 16 遺伝子座のうち 14 遺伝子座で遺伝子型が一致しなかったため、4 月 9 日に発生した事故現場のクマと 5 月 5 日の千曲川中洲で捕獲された個体のクマは別個体であると結論づけた。

分析兼鑑定者

津田吉晃

筑波大学山岳科学センター・菅平高原実験所・准教授

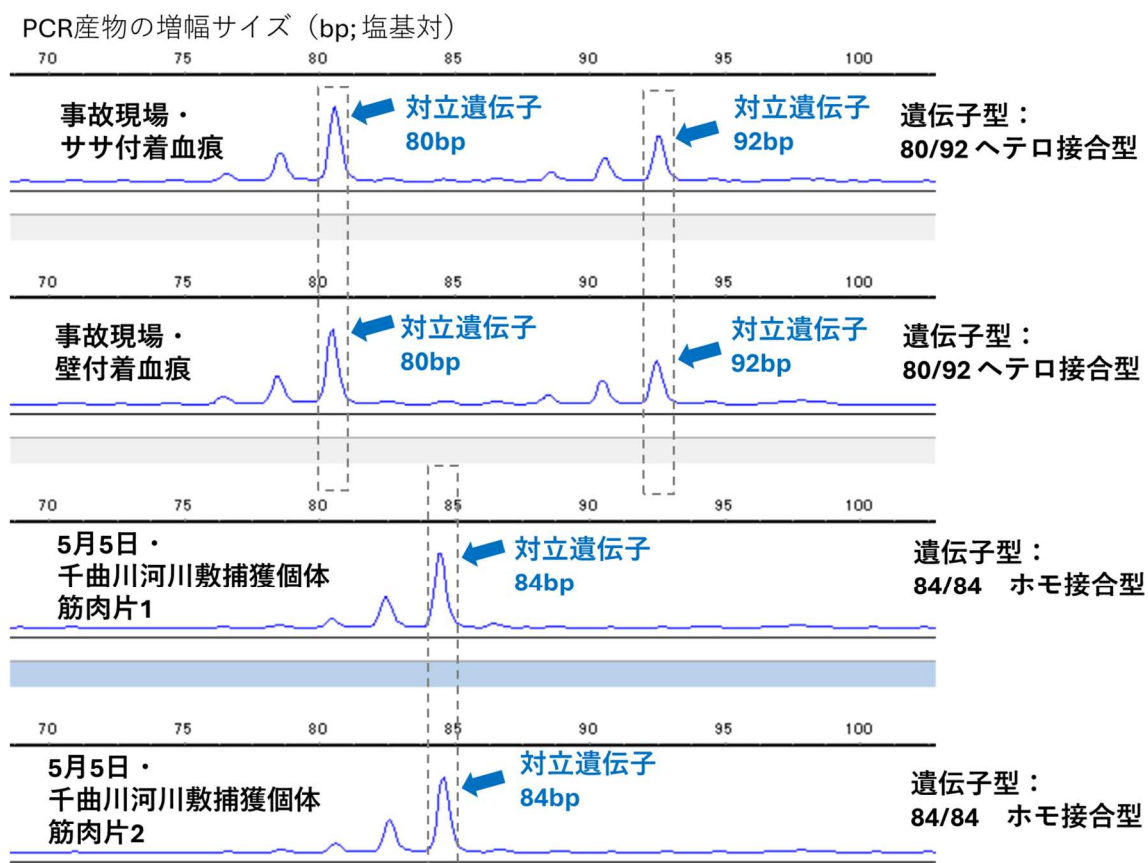


図. 遺伝子座 MSUT-2 での遺伝子型決定の例

⑥安定同位体比分析

体毛分析により、捕獲個体の長期的な食物利用状況を明らかにし、集落依存型個体が確認。環境保全研究所を通じ、森林総合研究所で捕獲個体の体毛分析を実施中。

3 管内全体の取組（中期取組）

方向性 クマの生息数・出没が多い北信管内全体の出没・被害抑制など対策を展開

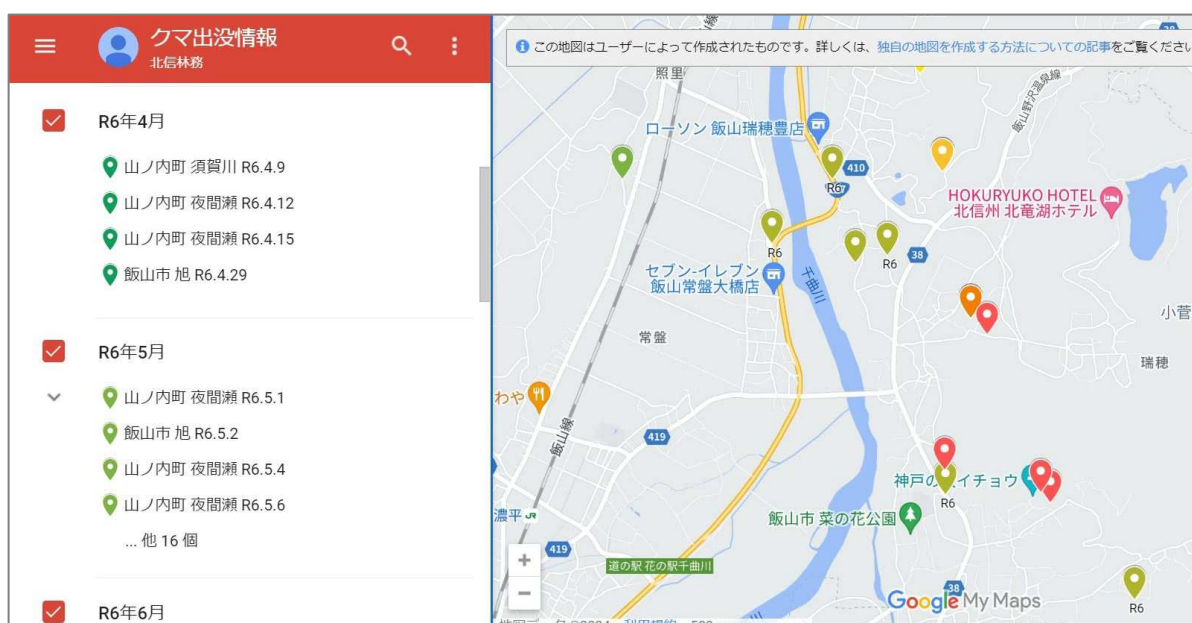
(1) 市町村枠を越えた出没情報の共有体制づくり

① ⑧ クマ出没情報に関する隣接市町村への緊急連絡体制（北信独自の取組、R7 運用開始）

- ・ 出没隣接市町村の初動体制のスピードアップを図るため、ラインとグーグルマップを活用し、出没情報を 6 市町村の担当課(係) といち早く情報共有する取組を開始。

② Google Map によるクマ出没位置情報の行政間共有（北信独自の取組、R6 運用開始）

- ・ 管内のクマ出没傾向等の把握、隣接市町村や市町村境の出没状況を 6 市町村間で共有
- ・ 出没データの蓄積と可視化（R6 県市長会（飯山市）からの要望を踏まえた対応）
- ・ ラインに寄せられた情報を林務課が整理することで、局から市町村に対して行う出没情報の照会・回答を省略（市町村の事務手間の簡素化）



(2) 出没抑制対策の推進

① クマの移動潜伏場所となる森林の間伐・ヤブ整理

- ・ 各市町村における森林環境譲与税や森林税を活用した緩衝帯整備事業の実施

② ⑧ 集落への誘引要因となる 放置柿の木の伐採事業を実施（飯山市 R7 新規事業）

③ 果樹等の農業被害軽減や出没抑制に向けた電気柵、広域電気柵の設置

④ ⑧ クマの長期的な食物利用を明らかにする安定同位体比分析の実施（県環境研協力）

- ・ 北信管内を重点分析地域に設定し、選定した地区について重点分析を実施
- ・ クマ捕獲個体（頭部）の体毛分析（分析は約 10 ヶ月必要、フィードバックは R8 年度から）
 - 分析差が出やすい食物：トウモロコシ、肉類、魚類、残飯、家畜飼料
 - 分析差が出にくい食物：柿、栗、リンゴ、野菜、米
- ・ 出没多発場所など 重点分析の候補地域を各市町村と林務課で調整・決定

(3) 捕獲対策の強化

● 集落出没を繰り返し、継続的な農業被害を引き起こしている特定個体の捕獲推進

- ・ 隣接市町村同士の出没情報の共有と調査の実施、連携による捕獲対応

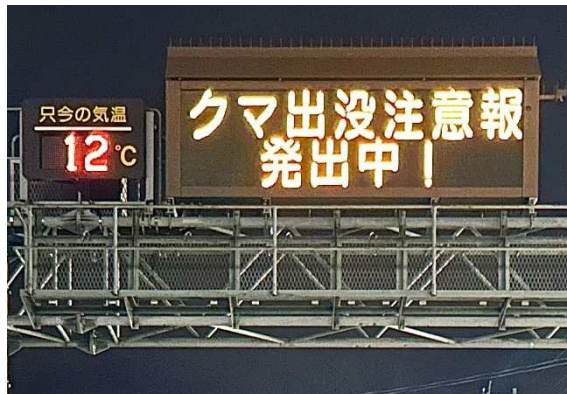
(4) クマとの遭遇防止対策の啓発

① ① 様々なツールを活用した観光客や県民に対する注意喚起

- 管内 25 ヶ所の**国道等の道路情報板**（電光掲示板）で出没注意のお知らせ（5/1～6/30）
「クマ出没注意報発出中」「クマの出没にご注意ください」のテキストを交互表示



中野市 一本木情報板



飯山市 伍位野情報板

- 観光施設等**に設置されている**デジタルサイネージ**を活用した注意喚起（5/9～10/30）
クマ鈴の携行など、具体的な遭遇防止対策を呼びかけ。（日本語/英語）



信越自然郷アクティビティーセンター



JR 飯山駅 新幹線改札出口

② ② クマ出没現場における注意喚起

特に**注意喚起が必要な出没場所**において、情報が伝わりにくい**観光客**や**地元住民**を対象に、**具体的な出没情報**や**遭遇防止対策**を周知する看板を作成、現場での注意喚起を実施。



- ・ 出没日時を手書きで記入し、直近の出没情報を周知
- ・ 掲出期間は 2 週間程度とし、住民等の看板慣れを防止



- ・ 素材：アルミ複合板
（A2、594mm×420mm）
- ・ 看板は 6 市町村に配布済み
（日本語 5 枚、英語 3 枚）

③ 観光客の皆さんに対するクマ遭遇防止対策の呼びかけ

- ・国内有数の観光地として、県内外から多くの観光客が訪れる管内の森林エリアにおいて、**観光客の皆さんがクマと出会わないための準備を呼びかける大型看板**を作成。
- ・大型看板は**日本語／英語併記**とし、観光客の流れが多い道の駅などと連携して**定期巡回掲示**。
掲示期間は、観光客の入り込みが始まる4月のGWから10月末の紅葉期。
(4/24～ 道の駅：花の駅千曲川、北信州やまのうち、 6/5～ 北陸新幹線飯山駅改札出口 等)



④ 遭遇防止対策の呼びかけチラシ配布

管内の主要観光施設等で観光客の皆さんに 1万枚のチラシを配布



配置先 (4/25 配置完了)

観光協会等 (8 団体)	信州中野ふるさと公社、信州いいやま観光局、山ノ内まちづくり観光局、 木島平村観光振興局、野沢温泉マウンテンリゾート観光局、栄村秋山郷観光協会、 小菅・北竜湖観光協会、戸狩温泉観光協会
主要駅(2 駅)	JR 飯山駅、長野電鉄 信州中野駅
道の駅 (6 施設)	道の駅ふるさと豊田、道の駅花の駅千曲川、道の駅北信州やまのうち、 道の駅ファームス木島平、道の駅野沢温泉、道の駅信越さかえ